

ふーぬ風

発行 〒901-1115
 沖縄県南部農業改良普及センター
 TEL : (098) 889 - 3515
 FAX : (098) 835 - 6010

おきなわ花と食のフェスティバル 2018 ～花き・野菜・果樹品評会～

平成 30 年 1 月 27 日(土)～ 28 日(日)に奥武山公園にて「おきなわ花と食のフェスティバル 2018」が開催されました。園芸品評会では、南部地区からも多くの花き・野菜・果樹が出品され、特別賞計 11 賞が受賞されました!! 受賞された皆さん、本当におめでとうございます。

第 33 回花き品評会賞名	受賞者名	品目名	市町村
九州花き卸売市場連合会長賞	島袋 幸光	ストレリチア	南風原町
金賞	金城 良美	ストレリチア	南風原町
	大城 修	バラ	豊見城市
銀賞	喜納 賢	小ぎく(白)	八重瀬町
	喜納 賢	小ぎく(赤)	八重瀬町
	島袋 政信	小ぎく	久米島町
	島袋 大輝	小ぎく	久米島町
	金城 政則	トルコギキョウ	那覇市
	屋宜 宜武	デンファレ	八重瀬町
銅賞	宇江城 昌俊	大ぎく	久米島町
	島袋 大輝	大ぎく	久米島町
	安里 鉄男	小ぎく	糸満市
	喜納 和子	小ぎく	八重瀬町
	仲嶺 稔	トルコギキョウ	八重瀬町
	金城 弘子	オレンジプリンス	南風原町
	金城 政光	オレンジプリンス	南風原町
	山城 信栄	ドラセナ	糸満市



九州花き卸売市場連合会長賞
 島袋 幸光さん

第 28 回野菜品評会賞名	受賞者名	品目名	市町村
農林水産省生産局長賞	知念 勝子	きゅうり	南城市
沖縄県知事賞	赤嶺 武則	かぼちゃ	南風原町
沖縄県議会議長賞	諸見里 安雄	さやいんげん(関西)	糸満市
内閣府沖縄総合事務局農林水産部長賞	伊森 正秀	大型ピーマン	八重瀬町
沖縄県農林水産部長賞	安谷屋 健治	にんじん	糸満市
沖縄県市長会長賞	大城 直二	ハーブ類(バジル)	豊見城市
沖縄県農業協同組合代表理事理事長賞	佐久川 正郎	キャベツ	那覇市
沖縄県農業協同組合中央会会長賞	安谷屋 剛	ミニトマト	豊見城市
沖縄県農業共済組合組合長理事賞	玉代勢 兼安	さやいんげん(関東)	南城市
沖縄県青果物流通協議会会長賞	當銘 博	トマト	豊見城市
銀賞	東恩納 盛繁	ゴーヤー	南城市
	赤嶺 俊明	トマト	豊見城市
	仲地 英直	ミニトマト	豊見城市
	田端 雄一	なす	那覇市
	諸見謝 慎	大型ピーマン	八重瀬町
	普天間 春行	さやいんげん(関東)	南城市
	平仲 健	さやいんげん(関東)	八重瀬町
	喜久里 正	レタス	八重瀬町
	仲西 栄二	にんじん	糸満市
	眞境名 武雄	キャベツ	那覇市
銅賞	金城 司	トマト	糸満市
	赤嶺 道弘	トマト	豊見城市
	赤嶺 敏夫	ミニトマト	豊見城市
	神里 靖	へちま	南風原町
	金城 智之	なす	那覇市
	東江 栄二郎	大型ピーマン	八重瀬町
	金城 正長	中型ピーマン	八重瀬町
	渡嘉敷 敦	ハーブ類(バジル)	豊見城市
	大城 忍	さやいんげん(関東)	糸満市
	新垣 栄助	レタス	糸満市



農林水産省生産局長賞
 知念勝子さん



沖縄県知事賞
 赤嶺武則さん
 優秀賞
 赤嶺澄子さん

第 17 回果樹品評会賞名	受賞者名	品目名	市町村
優秀賞	赤嶺 澄子	スターフルーツ	南風原町
優良賞	金城 伊都子	スターフルーツ	南風原町

意外と知らない～観葉植物の世界～

1. 観葉鉢物について

観葉鉢物生産のメリットは、花き類（切り花）や野菜類とは違って自ら出荷のタイミングを決められることです。苗の定植から育成期間はあまり手がかからないため、他品目との複合経営もできます。更に、他国や他産地から購入した苗は品種によって挿し木で増やすことができるため、苗代が安く抑えられることも魅力です。

2. 生産の状況

JAおきなわ玉城支店観葉生産部会の生産者に基本的な栽培の状況をお聞きしたところ、母樹・苗養成の露地ほ場（約 1,000～3,000 坪）と仕上げのためのハウス（約 600 坪）が必要であるとのこと。10月中旬から鉢上げを始め、ハウスにて枝の選定や曲げなどの仕立てを行い、主に春先に出荷します。ゴムノキなど種類によっては、直接鉢に植え3～4ヶ月で出荷できるものもあります。

栽培に関心がある方は、ご相談下さい。



JA 玉城支店観葉生産者ほ場視察

3. 多様な種類が楽しめます ～ 第 33 回 花き品評会出品物より ～



パーガンディー（ゴムノキ）



フィカス・ウンベラータ



ポリシヤス



ドラセナ・カンボジアーナ



クルシア



ドラセナ・ドラコ

八重瀬町かんしょ産地の維持・発展を目指して ～地域農業振興総合指導事業2年目の取り組み～



【1年目】産地の実態把握調査と課題整理を行い、農家、産地協議会、J A、普及の役割分担を明確にし、農業研究センターと連携しながら支援してきました。

課 題	推進リーダー	支援内容
ゾウムシ類対策	産地協議会	産地への広報活動、残さ処理対策
計画生産の推進	生産者・J A具志頭支店	作付計画表の作成、組織活動として定着
担い手育成、単収向上 加工・販売の課題把握	普及センター	リーダー研修、展示ほ設置、栽培講習会、実需者への調査及び交流会

【2年目】推進委員（農家代表）と共に取り組みました！

ゾウムシ類対策

- ・ゾウムシ類の被害軽減を目的に「八重瀬町かんしょ産地の約束」を検討し、広報誌で注意喚起できました。
- ・農家の提案で、畑に看板を設置しました。



- ・収穫残さが町バイオガスプラントにおいて処理できるよう調整を重ねた結果、利用規程が整い、受入が可能になりました。



計画生産の推進

- ・J Aいも生産部会の活動として、作付計画表の作成に取り組みました。
- ・部会員の中で大規模農家及び規模拡大意向農家を対象に関係機関で巡回し、栽培管理等に対する指導助言、情報提供を行うと共に作付状況を確認しています。



担い手育成

- ・産地リーダーを育成する目的で、他産地の取組や農家の栽培管理状況等について学ぶ機会を設け、生産振興に対する意識の向上と実践活動を促しました。



かんしょ産地研修会

産地リーダー研修(伊江島)

加工・販売の課題把握

- ・実需者への調査を実施し、県産かんしょが不足していることや品質向上の課題が明らかになりました。
- ・課題を共有するために生産者と実需者の交流会を開催しました。



単収向上支援

- ・「優良種苗活用による収益性の向上」、「栽植密度と収量の関係」、「マルチの効果」について展示ほを設置し、その結果を産地に発信しています。
- ・講習会を開催し、栽培管理のポイント等を周知しています。



【3年目】難題も多いですが一丸で取り組む

産地育成目標

1. 情報発信の強化
2. 産地づくり活動体制の整備

担い手育成目標

1. 作付計画及び実績作成農家の育成
2. 単収向上農家の育成



南部に適した暖地型牧草の栽培利用特性

3～5月は草地更新の最適期です。栽培する畑の条件に合わせて、牧草の品種を選びましょう。

	(採草地) 10aあたり 期待生草 収量	乾物 消化率	乾草 利用	ほふく 性	干ばつ 耐性	過湿土 壤耐性	酸性土 壤適性	耐倒 伏性	放牧 利用	栽培上の注意事項等
ギニアグラス 「ラーマク」	16t	○	×	×	○	×	○	◎	—	刈遅れると粗剛化する。地ぎわで刈らない。 刈取適期は草高 1.0m 以下。
ギニアグラス 「バイカジ」	15t	○	○	×	○	×	○	△	—	播種後初回刈取は70～80日後、以後は出穂始め 期に刈取る。地ぎわで刈ると再生不良。
トランスパーラ	10～13t	◎	○	○	○	○	○	×	○	草地化が遅い。低温期に生育が停滞する。刈取 適期草高 40～60cm。
ローズグラス (カタンボラ、カリーデ)	9～12t	△	○	△	×	△	△	×	×	施肥不足ですぐ衰退。出穂後急速に品質低下。 他草種より冬季生育が良好。
パラグラス	10～12t	△	×	○	○	◎	○	×	×	刈取適期は草高 70～90cm。
ジャイアント スターグラス	10～13t	△	○	○	◎	×	△	×	◎	ほふくによる隣地への侵出注意。 刈取適期草高 40～50cm。

※播種時にローラー等で鎮圧すると、発芽率や初期生育が向上し、良い草地になります！

採草地の窒素施肥量について（撒きすぎは、とても危険です！）

南部地域の複数の農家で、肥料の撒きすぎが原因とみられる牛の流産が発生しています。特に牧草の生育が鈍る冬の施肥は、要注意です。窒素分の施肥のポイントについて、改めて再確認してみましょう。

採草地には、刈取毎に窒素、リン酸、カリの施肥をしましょう。

施肥基準：暖地型牧草は刈取後に1反（300坪）あたり10kgの窒素分が必要です。

これは、窒素分16%、20kg袋入りの肥料で、3袋分に当たります。

ただし、**牧草の生育が鈍る冬季には、3割引で施用**します（7kg / 300坪）。

また、堆肥については年間5～10t / 300坪を施用します。

過剰障害：窒素施肥が多すぎると、牧草中に硝酸態窒素が蓄積し、牛に中毒を引き起こします。

中毒には慢性（流産、受胎不良、跛行、下痢など）と急性（流涎、反芻や食欲減退、ふらつきや起立不能、急死など）があります。

スラリー：南部地域で多くの草地に撒かれる乳用牛スラリー（液状きゅう肥）の窒素成分は0.2～0.3%程度と推定されます。0.3%で計算すると牧草刈取後の適正施肥量は3.3t / 300坪、冬季は2.3t / 300坪です。バキュームカーの積載容量から、草地に撒ける台数を計算しましょう。

かんしょ栽培のポイント



適期土壌害虫対策により、単収アップと品質の向上を目指そう！

畑周辺部や発生源側から被害が出ますので、早期発見・早期防除ができるよう被害の発生状況について注意して下さい。また、連作ほ場や被害の多いほ場は植付時からの防除を心がけて下さい。

〈土壌害虫に有効な主な殺虫剤：「プリンスバイト」、「ダズバン」、「トクチオン細粒剤 F」〉

作物名	農薬の名称	適用害虫名	10a当たり 使用量	使用時期	使用方法	使用回数	備考
かんしょ	プリンスバイト	アリモドキゾウムシ イモゾウムシ コガネムシ類 ハガネムシ類	6kg	植付時	植溝処理 土壌混和	1回	フィプロルを含む 農薬の総使用回数1回
		ハガネムシ類		植付前	全面処理 土壌混和		
	ダズバン粒剤	アリモドキゾウムシ イモゾウムシ	6kg	生育期 (但し、収穫30日前 まで)	株元散布	2回	クロビルホスを含む 農薬の総使用回数2回
		コガネムシ類	9kg		全面散布		
		ハガネムシ類		植付時	全面土壌混和 又は 植溝土壌混和		
	トクチオン細粒剤F	コガネムシ類幼虫	6~9kg	植付時	植溝または 作条土壌混和	1回	プロホスを含む 総使用回数4回 (植付時は1回以内、散布は3回 以内)
ハガネムシ類		9kg					

使用する際は、「農薬ラベル」の記載に従って使用して下さい。また、農薬の登録は最新の情報を確認して下さい。

(地域特産振興班 友利 研一)



実践取組事例紹介

最近、よく耳にする「GAP (ギャップ)」という言葉はご存知ですか。

GAP とは Good Agricultural Practice の略で、簡単に言うと、「**いい農業をする**」という意味です。

近年、南部管内で GAP 実践に取り組んでいる事例を紹介します。

組 織	JA具志頭支店 野菜生産部会	南城市農業青年クラブ
品 目	(ピーマン・インゲン)	(インゲンがメイン)
取組開始時期	H29年2月より取り組みスタート	H29年8月より取り組みスタート
集団向け 【GAP実践に向けた講習】	それぞれの栽培期間中に実施される各種講習会や現地検討会において、 GAP実践に必要な項目を栽培管理時期に合わせ 、年間を通して講習	
個別農家向け 【モデル農家の育成】	GAP農場評価を受け、 すでにできている項目・できてない項目に気づき 、改善に向けて取り組み中のモデル農家	
	H28	JA具志頭ピーマン専門部 〃 JA具志頭インゲン専門部
	H29	南城市農業青年クラブ (インゲン) JA糸満支店果樹部会 (マンゴー) JA具志頭ピーマン専門部
		①金城 正長 氏 ②仲宗根 朝洋氏 ③諸見里 真信氏 ①玉代勢 兼安氏 ②大城 直也氏 ③親泊 哲二氏

GAP農場評価とは??

- ・ 農業管理の「今の状態」についてリスク評価をすることです。
- ・ 評価内容は、①食品安全 ②労働安全 ③環境保全の 3つの分野があり、普及員や営農指導員が評価し、できていない項目についてはどう改善するか一緒に考えます。



(地域特産振興班 屋嘉比 仁美)

平成30年から青色申告を検討している方へ

◆青色申告できる人

- ① **事業（農業）** 所得、不動産所得、山林所得のいずれかの所得がある人
- ② 一定の帳簿を備え、毎日の取引を正しく記帳。**複式簿記で記帳すればさらに節税効果大きい!**
- ③ 所轄税務署（南部地域は那覇税務署または北那覇税務署）に「青色申告承認申請書」を提出し、承認を受けた人。



◆申請書の提出期限

- ① これまでに白色申告をしていた人：**H30年3月15日**
- ② H30年1月1日～16日に就農した人：**H30年3月15日**
- ③ H30年1月16日以降に就農した人：2ヶ月以内

◆◆ 青色申告の特典いろいろ ◆◆

1. **青色申告特別控除**：複式簿記で損益計算書・貸借対照表を作成すれば所得金額から65万円を控除できます。(単式簿記の場合は10万円) ※H30年からe-tax申告等の場合とされています。
2. **赤字の繰り越し**：事業赤字を翌年以降3年間繰り越して黒字を相殺（控除）できます。
3. **青色事業専従者給与**：家族への給与を適正額の範囲で全額経費にできます（**事前に申請が必要***）。
4. **減価償却費の特例**：30万円未満の固定資産は300万円まで購入時に全額を経費に算入できます。
5. **収入保険制度（平成31年1月1日から開始）**：品目の枠にとらわれず、自然災害による収量減少や価格低下等による収入減少を補填する制度に加入できます。

※これから取り組む方は平成30年青色申告実績があれば平成32年1月から加入

*補足青色事業専従者給与について・・・「青色事業専従者給与に関する届出書」の提出が必要です。今年から開始予定であればH30年3月15日まで、所轄税務署へ申請しましょう。また、「源泉所得税の納期の特例の承認に関する申請兼納期の特例適用者に係る納期限の特例に関する届出書」をあわせて提出するとよいでしょう。

毎年、確定申告や事業関係報告前に大急ぎで領収書を探してまとめ、提出したら満足していませんか？
儲かるためには1年間の収支だけでなく、自身の資産や負債状況もしっかり数値で把握し、毎年計画を立てて結果がどうだったか、反省・改善していかなければなりません。

◆儲けるための三箇条◆

- **資産購入・借入返済分も含めた目標所得から売上目標（計画）をたてる!**
- **売上目標達成のための出荷量 × 単価を掲げ、技術研鑽する!**
- **毎年計画と結果を比較、反省（原因を把握）し改善する!**



複式簿記を申告だけに利用するのはもったいない!!

経営をよりよいものにするために、複式簿記の内容を理解して、自分の経営を把握しましょう。自身や家族で記帳が難しければ、JA記帳代行サービスや那覇青色申告会、税理士等を活用するのも方法の一つ。記帳を自身で行うことより、記帳結果を経営に利用することが大切です。

(普及企画班 豊里 麻子)

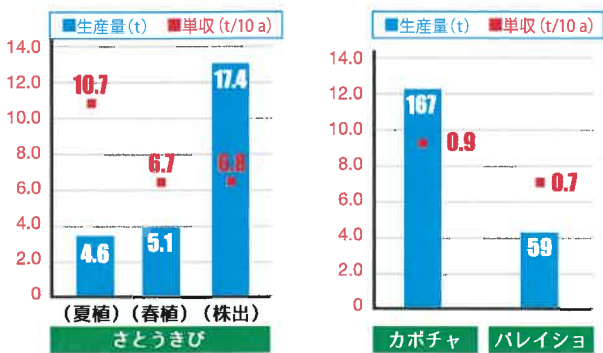
北大東村の農業

離島情報

北大東村では、さとうきびを基幹作物とした兼業農業が中心で、これに加えてさとうきびとの輪作作物としてカボチャおよびバレイシヨの栽培により土作りや収益の安定を図っています。

北大東村の農業は、農家 1 戸当たりの栽培面積が大きく、基盤整備が進んでおり、さとうきびの機械化一貫作業体系が整っていることが特徴的です。

図 1 : 28/29 年 期 品 目 別 生 産 実 績 比 較



【さとうきび】

北大東村における基幹作物であるさとうきびは、干ばつや台風等の気象災害の影響もあり近年は生産量では 13,000t 前後で推移し単収 3.6t/10a と県平均よりは低い値となりました。しかし平成 28/29 年 期 実 績 で は 生 産 量 で 27,000t と平成 20/21 年 期 以 来 の 2 万 t を 超 え る 実 績 と な り ま し た。

表 1 : さ とう き び の 生 産 実 績 推 移

	23/24 期	24/25 期	25/26 期	26/27 期	27/28 期	28/29 期
面積 (ha)	393	397	380	379	370	376
生産量 (t)	14,113	13,955	12,783	10,784	13,841	27,096
単収 (t/10a)	3.6	3.5	3.4	2.8	3.7	7.2

北大東村のさとうきび栽培においては水の確保が難しいことと限られた労働力の中でいかに生産量を確保するかが課題となっています。

そこで農地の区画整理と水源整備、ハーベスタ収穫をはじめとする機械化一貫作業体系の構築を進めています。



点滴チューブによるかん水



ハーベスタによる収穫

栽培品種の上位については Ni28 が 3 割 近 く、次 い で F161 が 2 割、近年は NiN30 が 増 え て お り 全 体 の 1 割 を 占 め て い ま す。

【カボチャ】

北大東村のカボチャはさとうきびとの輪作物目として位置づけられ栽培されています。平成 26 年 度 に は 拠 点 産 地 認 定 を 受 け 作 付 面 積 や 生 産 量 も 伸 び、品 質 に つ い て も 市 場 より 高 い 評 価 を 受 け て い ま す。

表 2 : カボチャの生産実績推移

	23/24 期	24/25 期	25/26 期	26/27 期	27/28 期	28/29 期
面積 (ha)	6.2	10.8	12.9	15.0	15.8	17.0
出荷量 (t)	54	100	143	133	117	152
単収 (t/10a)	0.8	1.0	1.3	0.9	0.7	0.9

栽培における特徴としては防風垣としてさとうきびを活用しています。また、部会活動も活発で栽培期間中に月 1 回ペースで部会員同士のほ場にて現地検討・意見交換を行い技術習得に努めています。



さとうきびで風対策



部会会員同士による現地

【バレイシヨ】

バレイシヨもカボチャと同じくさとうきびの輪作物として栽培されています。品質への評価は高い一方で近年は生産量が停滞しており、そうか病等の病気対策という課題があります。また、収穫から出荷までの作業に労力がかかるため、その省力化や負担軽減に向けた機械整備や集荷施設整備を進めています。

表 3 : バレイシヨの生産実績推移

	23/24 期	24/25 期	25/26 期	26/27 期	27/28 期	28/29 期
面積 (ha)	9.2	5.5	6.1	4.2	6.4	6.9
出荷量 (t)	209	94	163	100	64	51
単収 (t/10a)	2.3	1.6	2.7	2.4	0.9	0.7



バレイシヨ生育状況



集出荷施設の整備

(北大東駐在 與儀 允)

南部の産地を支える頼もしい農業青年を紹介します。

南風原町でサヤインゲン、キャベツ等を栽培している兼本光太郎さん、非農家からの就農で3年目、30a(900坪)を栽培管理・出荷しています。



南風原町農業青年クラブに加入し、去年は会長も務めました。去った10月、沖縄県青年農業者会議の発表会にて町内の保育園等で実施した食育活動について紹介し、優秀賞を受賞することが出来ました。

普段、寡黙な本人は地道に野菜を作っていますが、積極的に地域の活動にも参加し、仲間との交流も大切にする若く、頼もしい青年です。

八重瀬町の新規就農4年目、赤嶺良樹さん、非農家から就農し50a(1500坪)を主に本人と奥さんの二人でサヤインゲン、ブロッコリ、マンゴー等を栽培しています。



那覇市から八重瀬町に転居し、農地、ハウス、倉庫等を一度に購入して農業に就きました。先輩農家や各関係機関等から技術指導や家族からの支援も受けながら始まりました。

負担は多いが、昨年からは出荷が始まり、農産物を栽培する楽しさを味わっています。これからの活躍が期待されます。

(普及企画班 儀間 靖)

天敵(スワルスキーカブリダニとタバコカスミカメ)の利用と内張カーテンの設置で 安全・安心なピーマンのブランドづくりに貢献!

JA おきなわ具志頭支店 親泊 哲二
野菜生産部会ピーマン専門部会員

JA おきなわ具志頭支店野菜生産部会ピーマン専門部会では、部会員64名全員が、エコファーマーの認定を受け、太陽熱土壌消毒の実施等、安全安心なピーマン生産に励んでいます。沖縄県産ピーマンの7割を生産する産地です。主力品種の「ちぐさ」は、肉厚で柔らかな果肉と甘みが特徴で、とてもおいしいピーマンです。

親泊哲二さんは、八重瀬町後原で、施設ピーマン(24a)とマンゴー(13a)を主に栽培しています。優しく、まじめで、栽培管理技術も高く、単収も部会でトップです。28年産ピーマンで天敵(スワルスキーカブリダニ)を利用して、農薬の低減ができました。29年度は、普及センターの展示ほで、スワルスキーカブリダニに土着天敵(タバコカスミカメ)と内張カーテン



設置による保温・病虫害総合防除の実証を行っています。害虫の発生も少なく、ハウスの温湿度管理と発病を確認するとすぐに持ち出し処理の実施で、課題だった斑点病の発生もありません。技術の実証と現地検討会・視察等の実施協力で、産地や南部地区への技術波及にも貢献しています。

(園芸技術普及班 屋宜 美智子)